

高等学校 令和年 8 度 (3 学年用) 教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：(1 組：川嶋) (2 組：川嶋) (3 組：川嶋) (4 組：川嶋) (5 組：川嶋)

使用教科書：(『新編 論理国語』(大修館書店))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

適切かつ効果的な表現方法を学び、実生活に役立てる力を身につける。

【思考力・判断力・表現力等】

想像力をもって言語感覚を磨き、進んで表現する力を身につける。

【学びに向かう力・人間性等】

伝え合う力を高め、社会生活の充実を図る態度を身につける。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉の特徴や働きを理解し、語句の量を増やすとともに、文章の種類に基づく効果的な文章校正や展開の仕方について理解を深める。	社会的な話題について書かれた論説文や、実社会における人とのかかわりについて述べた文章などを読み、多面的な視点から自分の考えを見直したり、意見を書くことができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			証 ・ 聞	書	読					
1 学 期	A 論理と出会う 【知識及び技能】 言葉の働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「論理」の定義を述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで調べ学習ができる。	・「論理」とは何かを考え、論理的な文章を書くために必要な力を身に付ける。 ・教科書、ワークシート ・インターネット上では「論理」の意味がどのように歪曲化されているかを調べる。	○			・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・文章の構成や展開、表現のしかた、特色について評価ができる。	○	○	○	12
	B 具体と抽象 【知識及び技能】 言葉の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体、抽象のいずれにあたるか指摘ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文献に触れ、考えを深められる。	・具体と抽象のちがいを理解し、文章における効果的な使い分けについて学ぶ。 ・教科書、ワークシート ・具体化のひとつである「引用」を学び、調べた文献の適切な引用方法を理解する。	○			・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・文章の構成や展開、表現のしかた、特色について評価ができる。 ・読み手に伝えるための技法を理解し、文章を書こうとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			○	○		1
	C 対比をとらえる 【知識及び技能】 語と語の関係性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項を踏まえて、読解ができる。	・主張を裏付けるために対比について知り、各文章における効果を指摘する。 ・教科書、ワークシート ・文章から読み取った内容を、表に起こし対比を分かりやすくまとめる。		○		・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・文章の構成や展開、表現のしかた、特色について評価ができる。	○	○	○	12
	D 主張をつかむ 【知識及び技能】 要約の仕方と効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 根拠を明らかにして意見を述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会に関心を持ち、意見を書く。	・さまざまな種類の文章から筆者の主張を読み取り、要約をする。 ・教科書、ワークシート ・電子書籍を体験し、紙の本とのちがいを、将来性について考え、まとめる。	○			・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・文章の構成や展開、表現のしかた、特色について評価ができる。 ・具体例や根拠を示すなど、自分の考えを他者に伝えるための工夫をしている。	○	○	○	11
定期考査		○	○			○	○		1	
2 学 期	A 統計資料を活用する 【知識及び技能】 資料の種類と見方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料と文章の関連を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な資料を用い、主張を裏付ける。	・統計資料の見かたと、文章との関連を学ぶ。 ・教科書、ワークシート ・与えられた課題に対し、主張の裏付けに適していると思われるグラフを探す。	○			・資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。		1		11
	B 比べて読む 【知識及び技能】 対比の効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を読み比べて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小論文を書くための調べを行う。	・異なる主張を持つ文章を読み比べ、自身の考えを深める。 ・教科書、ワークシート ・SNSをテーマに、自身の体験談を踏まえて小論文を作成する。	○			・自身の経験や身近な例を用いながら、テーマに対する主張を分かりやすく書くことができる。	○	○	○	12
	定期考査		○	○			○	○		1
	C 自己を見つめて 【知識及び技能】 語句の意味と用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 AIと人の関係性を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 実社会の問題に目を向ける。	・実社会における課題を理解し、自分を客観的に見つめる機会とする。 ・教科書、ワークシート ・AIが将来的にどのような働きをなしえるか、人との関係性にどのような変化をもたらすかを考察する。		○		・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やそうとしている。	○	○	○	11
D 思考を深める 【知識及び技能】 意見と根拠を区別できる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理を理解して文章を書く。	・筆者の主張を批判的に検討し、自身の意見を根拠を明示して書き表す。 ・教科書、ワークシート ・論理的でないと思われる文章を分	○			・目的や場に応じて適切な言葉を選び、意見や考え方を分かりやすく相手に伝えようとしている。	○	○	○	12	

	【学びに向かう力、人間性等】 身近なものに論理性を持たせる。	かりやすく書き直し、ポスター形式 にまとめる。										
	定期考査			○	○				○	○	1	
3 学 期	A 問いを深めて書く（小論文） 【知識及び技能】 小論文の構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 小論文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 他の人の小論文を評価できる。	・短い文章を読み、その内容に関連 する小論文を書く。 ・教科書、ワークシート ・他の人の小論文を読み、論理力、 表現力、説得力の観点から評価を行 う。			○					○	○	9
	定期考査				○	○				○	○	1
											合計	
											105	

\* なおこの年間計画は予定です。生徒の理解の様子によって、変更することがあります。